

バリダマイシン (案)

今般の残留基準の検討については、農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において厚生労働大臣からの依頼に伴う食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会（以下、「本部会」という。）において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

また、上記の評価後に農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされた。当該基準値設定依頼に当たって、毒性や代謝に関する新たな知見の提出がなく、既存の食品健康影響評価の結果に影響はないと考えられることから、本部会での審議後に食品安全委員会に対して食品健康影響評価の要請を行うこととしている。

1. 概要

(1) 品目名：バリダマイシン [Validamycin]

(バリダマイシンはバリダマイシンAをいう。)

(2) 分類：農薬

(3) 用途：殺菌剤/抗生物質

グリコシド系の殺菌剤である。菌体内に吸収された後、加水分解によりバリドキシルアミンAに変換され、貯蔵糖トレハロースの分解酵素トレハラーゼの活性を阻害することにより、殺菌効果を示すと考えられている。

ヒト用医薬品としては使用されていない。

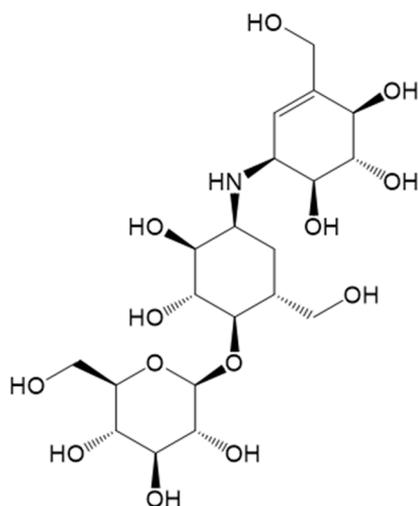
(4) 化学名及びCAS番号

バリダマイシンA

(2R, 3R, 4S, 5S, 6R)-2-{[(1R, 2R, 3S, 4S, 6R)-2, 3-Dihydroxy-6-(hydroxymethyl)-4-
 {[(1S, 4R, 5S, 6S)-4, 5, 6-trihydroxy-3-(hydroxymethyl)cyclohex-2-en-1-
 yl]amino}cyclohexyl]oxy}-6-(hydroxymethyl) tetrahydro-2H-pyran-3, 4, 5-triol
 (IUPAC)

D-*chiro*-Inositol, 1, 5, 6-trideoxy-4-*O*-β-D-glucopyranosyl-5-(hydroxymethyl)-
 1-[[[(1S, 4R, 5S, 6S)-4, 5, 6-trihydroxy-3-(hydroxymethyl)-2-cyclohexen-1-
 yl]amino]- (CAS : No. 37248-47-8)

(5) 構造式及び物性
バリダマイシンA



分子式 $C_{20}H_{35}NO_{13}$
 分子量 497.50
 水溶解度 $>6.10 \times 10^2$ g/L (20°C)
 分配係数 $\log_{10}Pow = -4.21$

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の国内における適用の範囲及び使用方法は別紙1のとおり。なお、今般の基準値設定依頼にかかる新たな適用の範囲及び使用方法は網掛けとしている。

3. 代謝試験

(1) 植物代謝試験

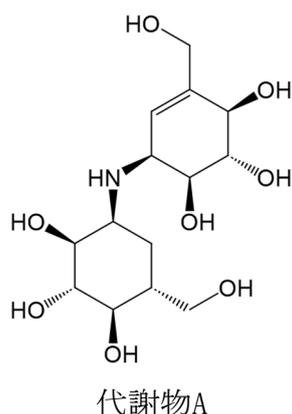
植物代謝試験が、水稻、レタス及びびだいずで実施されており、可食部で親化合物の残留が認められ、10%TRR^{注)}以上認められた代謝物は、代謝物A（玄米、レタス及びびだいずの子実）であった。

注) %TRR：総放射性残留物（TRR：Total Radioactive Residues）濃度に対する比率（%）

【代謝物略称一覧】

略称	JMPR 評価書の略称	化学名
A (バリドキシ ルアミンA)	—	1, 5, 6-トリデオキシ-5-(ヒドロキシメチル)-1-[(1S, 4R, 5S, 6S)-4, 5, 6-トリヒドロキシ-3-ヒドロキシメチル-2-シクロヘキセン-1-イルアミノ]-D- <i>chiro</i> -イノシトール

—：JMPRで評価されていない。



注) 残留試験の分析対象、暴露評価対象となっている代謝物について構造式を明記した。

4. 作物残留試験

(1) 分析の概要

① 分析対象物質

- ・バリダマイシンA
- ・代謝物A

② 分析法の概要

i) バリダマイシンA

試料からメタノールで抽出し、強酸性陽イオン交換樹脂カラム及び強塩基性陰イオン交換樹脂カラムを用いて精製した後、ピリジン、トリメチルクロロシラン及びビストリメチルシリルアセトアミドを加え加熱してトリメチルシリル化し、水素炎イオン化検出器付きガスクロマトグラフ (GC-FID) で定量する。

または、試料からメタノール、メタノール・水 (3 : 1) 混液又はメタノール・水 (9 : 1) 混液で抽出し、グラファイトカーボンカラム又はスチレンジビニルベンゼン共重合体カラム及びグラファイトカーボンカラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・質量分析計 (LC-MS) を用いて定量する。

あるいは、試料からメタノール又はメタノール・水 (9 : 1) 混液で抽出し、*n*-ヘキサン又は酢酸エチル・*n*-ヘキサン (1 : 1) 混液で洗浄する。グラファイトカーボンカラム又はメタクリレート・スチレンジビニルベンゼン共重合体カラム及びグラファイトカーボンカラムを用いて精製した後、LC-MSを用いて定量する。

定量限界 : 0.007~0.2 mg/kg

ii) バリダマイシンA及び代謝物A

試料からメタノール・水 (9 : 1) 混液で抽出し、グラファイトカーボンカラム又はスチレンジビニルベンゼン共重合体カラム及びグラファイトカーボンカラムを用いて精製した後、LC-MSを用いて定量する。

荒茶については試料を粉碎し、水で膨潤後、メタノール・水 (9 : 1) 混液で抽出し、スチレンジビニルベンゼン共重合体カラム及びグラファイトカーボンカラムで精製した後、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS) を用いて定量する。

なお、代謝物Aの分析値は、換算係数1.48を用いてバリダマイシンA濃度に換算した値として示した。

定量限界：バリダマイシンA 0.05 mg/kg
代謝物A 0.074 mg/kg (バリダマイシンA換算濃度)

(2) 作物残留試験

国内作物残留試験については、さといも、チンゲンサイ、茶等の試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙2に示す。

5. 許容一日摂取量 (ADI) 及び急性参照用量 (ARfD) の評価

食品安全基本法 (平成15年法律第48号) 第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたバリダマイシンに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

(1) ADI

ADI : 0.36 mg/kg体重/日 (バリダマイシンA換算)

(ADI設定根拠資料) 慢性毒性/発がん性併合試験

(動物種) ラット

(期間) 2年間

(投与方法) 混餌

(無毒性量) 36.8 mg/kg体重/日

(安全係数) 100

なお、食品安全委員会は、発がん性は認められなかったと評価している。

(2) ARfD

ARfD : 3.2 mg/kg体重 (バリダマイシンA換算)

(ARfD設定根拠資料) 亜急性毒性試験

(動物種) イヌ

(期間) 90日間

(投与方法) カプセル経口

(無毒性量) 327 mg/kg体重/日

(安全係数) 100

(3) その他

食品安全委員会によると、バリダマイシン原体投与による腸内細菌叢及び盲腸重量の変化 (マウス) において、バリダマイシン投与群では糞便中の培養可能な細菌数に大きな変化は認められなかったと評価されている。

6. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、いずれの国及び地域においても基準値は設定されていない。

7. 残留規制

(1) 残留の規制対象

バリダマイシンAとする。

植物代謝試験において、代謝物Aが10%TRRを超えて認められたが、可食部においてバリダマイシンAの残留が認められることから、残留の規制対象には代謝物Aを含めずバリダマイシンAのみとする。

(2) 基準値案

別紙3のとおりである。

(3) 本剤については、基準値を設定しない食品に関して、食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）第1 食品の部 A 食品一般の成分規格の項1に示す「食品は、抗生物質又は化学的合成品たる抗菌性物質を含有してはならない。」が適用される。

8. 暴露評価

(1) 暴露評価対象

バリダマイシンA及び代謝物Aとする。

植物代謝試験において、代謝物Aが10%TRRを超えて認められたこと、代謝物Aが測定された葉菜、果菜及び茶の作物残留試験においてバリダマイシンAと同等かそれ以上の残留が認められたことから、暴露評価対象物質はバリダマイシンA及び代謝物Aとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物中の暴露評価対象物質をバリダマイシン（親化合物のみ）としている。

(2) 暴露評価結果

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙4参照。

	EDI/ADI (%) ^{注)}
国民全体 (1歳以上)	2.7
幼小児 (1～6歳)	5.5
妊婦	2.3
高齢者 (65歳以上)	3.4

注) 各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI 試算法：作物残留試験成績の中央値 (STMR) 等×各食品の平均摂取量

② 短期 (1日経口) 暴露評価

各食品の短期推定摂取量 (ESTI) を算出したところ、国民全体 (1歳以上) 及び幼小児 (1～6歳) のそれぞれにおける摂取量はARFDを超えていない^{注)}。詳細な暴露評価は別紙5-1及び5-2参照。

注) 基準値案、暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値、作物残留試験における最高残留濃度 (HR) 又は中央値 (STMR) を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを算出した。

バリダマイシンの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2025年4月23日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量 (目安)	使用回数	バリダマイシン を含む農薬の 総使用回数
稲	5.0% SL	散布	1000倍	収穫14日前まで	60~150 L/10 a	5回以内	6回以内 (育苗箱灌注は1 回以内、 本田では5回以 内)
			300倍		25 L/10 a		
		空中散布	25~35倍	収穫14日前まで	3 L/10 a	5回以内	
		無人ヘリコプ ターによる散布	8倍	収穫14日前まで	800 mL/10 a	5回以内	
		空中散布	7~8倍	収穫14日前まで	800 mL/10 a	5回以内	
	原液		120~150 mL/10 a				
	3.0% SL	散布	500~1000倍	収穫14日前まで	60~150 L/10 a	5回以内	
			20~30倍		3 L/10 a		
		空中散布	4~8倍	800 mL/10 a	5回以内		
	0.30% DP	散布	3~4 kg/10 a	収穫14日前まで	—	5回以内	
	5.0% SC 配合剤1	散布	1000倍	収穫14日前まで	60~150 L/10 a	2回以内	
			300倍		25 L/10 a		
	無人ヘリコプ ターによる散布	8倍	収穫14日前まで	800 mL/10 a	2回以内		
		5.0% SC 配合剤2	散布	1000倍	収穫14日前まで	60~150 L/10 a	
	300倍			25 L/10 a			
	無人ヘリコプ ターによる散布	8倍	収穫14日前まで	800 mL/10 a	2回以内		
		5.0% SC 配合剤3	散布	1000倍	収穫14日前まで	60~150 L/10 a	
	300倍			25 L/10 a			
	無人航空機による 散布	8倍	収穫14日前まで	800 mL/10 a	3回以内		
		5.0% SC 配合剤4	空中散布	30倍	収穫14日前まで	3 L/10 a	
	無人ヘリコプ ターによる散布		8倍	収穫14日前まで	800 mL/10 a	2回以内	
		5.0% SC 配合剤5	散布	1000倍	収穫14日前まで	—	
	300倍			25 L/10 a			
	空中散布		30倍	収穫14日前まで	3 L/10 a	3回以内	
			8倍		800 mL/10 a		
	無人ヘリコプ ターによる散布	8倍	収穫14日前まで	800 mL/10 a	3回以内		
		空中散布	3倍	収穫14日前まで	300 mL/10 a	3回以内	
	5.0% SC 配合剤6	散布	1000倍	収穫14日前まで	60~150 L/10 a	2回以内	
300倍			25 L/10 a				
空中散布		30倍	収穫14日前まで	3 L/10 a	2回以内		
		8倍		800 mL/10 a			
無人航空機による 散布	8倍	収穫14日前まで	800 mL/10 a	2回以内			
5.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	穂揃期まで	60~200 L/10 a	2回以内		
		300倍		25 L/10 a			
	空中散布	8倍	穂揃期まで	800 mL/10 a	2回以内		
無人航空機による 散布	8倍	穂揃期まで	800 mL/10 a	2回以内			
4.0% SL 配合剤8	散布	1000倍	穂揃期まで	—	2回以内		
		30倍		3 L/10 a			
	無人航空機による 散布	8倍	穂揃期まで	800 mL/10 a	2回以内		
2.5% WP 配合剤9	散布	500倍	収穫14日前まで	60~150 L/10 a	2回以内		

バリダマイシンの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2025年4月23日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量 (目安)	使用回数	バリダマイシン を含む農薬の 総使用回数
稲	0.30% DP 配合剤10	散布	3~4 kg/10 a	収穫14日前まで	—	2回以内	6回以内 (育苗箱灌注は1 回以内、 本田では5回以 内)
	0.30% DP 配合剤11	散布	4 kg/10 a	収穫21日前まで	—	2回以内	
			3~4 kg/10 a				
	0.30% DP 配合剤12	散布	3~4 kg/10 a	収穫14日前まで	—	2回以内	
	0.30% DP 配合剤13	散布	3~4 kg/10 a	収穫14日前まで	—	3回以内	
	0.30% DP 配合剤14	散布	4 kg/10 a	収穫14日前まで	—	2回以内	
			3~4 kg/10 a				
	0.30% DP 配合剤15	散布	4 kg/10 a	収穫14日前まで	—	3回以内	
			3~4 kg/10 a				
	0.30% DP 配合剤16	散布	4 kg/10 a	収穫14日前まで	—	2回以内	
			3~4 kg/10 a				
	0.30% DP 配合剤17	散布	4 kg/10 a	収穫14日前まで	—	3回以内	
			3~4 kg/10 a				
	0.30% DP 配合剤18	散布	4 kg/10 a	収穫14日前まで	—	2回以内	
3~4 kg/10 a							
0.30% DP 配合剤19	散布	3~4 kg/10 a	穂揃期まで	—	2回以内		
0.30% DP 配合剤20	散布	3~4 kg/10 a	穂揃期まで	—	2回以内		
0.30% DP 配合剤21	散布	3~4 kg/10 a	穂揃期まで	—	2回以内		
0.30% DP 配合剤22	散布	4 kg/10 a	穂揃期まで	—	2回以内		
		3~4 kg/10 a					
稲(箱育苗)	5.0% SL	灌注	1000倍	は種時~ 発病初期	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり希釈 液500 mL	1回	6回以内 (育苗箱灌注は1 回以内、 本田では5回以 内)
	3.0% SL	灌注	500倍	は種時~ 発病初期	育苗箱(30×60×3 cm使用土壌約5 L)1箱当たり500 mL	1回	
未成熟 とうもろこし	5.0% SL	散布	1000倍	収穫7日前まで	100~300 L/10 a	3回以内	3回以内
だいず	5.0% SL	散布	500倍	収穫7日前まで	100~300 L/10 a	3回以内	3回以内
ばれいしょ	5.0% SL	散布	500倍	収穫3日前まで	100~300 L/10 a	6回以内	7回以内 (種いもへの処理 は1回以内、 植付後は6回以 内)
		種いも散布	200倍	貯蔵前 又は植付前	種いも100 kg当 たり2.5~3 L	1回	
			10倍	植付前	種いも100 kg当 たり200~300 mL		
	瞬時~10分間 種いも浸漬	200倍	貯蔵前 又は植付前	—	1回		
0.30% DP	種いも粉衣	種いも重量の0.3%	植付前	—	1回		
さといも	5.0% SL	散布	500倍	収穫前日まで	100~300 L/10 a	3回以内	3回以内
こんにゃく	5.0% SL	散布	500倍	収穫前日まで	100~300 L/10 a	3回以内	3回以内
					1~3 L/m ²		
てんさい	5.0% SL	灌注	400倍	育苗中期	3~6 L/m ²	1回	1回
	3.0% SL	灌注	250倍	育苗中期	3~6 L/m ²	1回	

バリダマイシンの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2025年4月23日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量 (目安)	使用回数	バリダマイシン を含む農薬の 総使用回数
だいこん	5.0% SL	散布	500倍	収穫7日前まで	100~300 L/10 a	4回以内	4回以内
	0.30% DP	株元散布	20 kg/10 a	収穫7日前まで	—	4回以内	
	4.0% SL 配合剤8	散布	500倍	収穫14日前まで	100~300 L/10 a	3回以内	
はくさい	5.0% SL	散布	500倍	収穫3日前まで	100~300 L/10 a	3回以内	3回以内
キャベツ	5.0% SL	散布	800倍	収穫7日前まで	100~300 L/10 a	5回以内	5回以内
	4.0% SL 配合剤8	散布	800倍	収穫7日前まで	100~300 L/10 a	4回以内	
チンゲンサイ	5.0% SL	散布	500倍	収穫前日まで	100~300 L/10 a	3回以内	3回以内
ブロッコリー	5.0% SL	散布	500~800倍	収穫前日まで	100~300 L/10 a	4回以内	4回以内
			800倍			3回以内	
レタス	5.0% SL	散布	800倍	収穫前日まで	100~300 L/10 a	3回以内	3回以内
	3.0% SL	散布	500倍	収穫前日まで	100~300 L/10 a	3回以内	
非結球レタス	5.0% SL	散布	800倍	収穫3日前まで	100~300 L/10 a	3回以内	3回以内
ふき	5.0% SL	30分間種茎浸漬	800倍	植付時	—	1回	5回以内 (種茎浸漬は1回 以内)
		灌注	800倍	収穫7日前まで	3 L/m ²	5回以内	
	3.0% SL	30分間種茎浸漬	500倍	植付時	—	1回	
		灌注	500倍	収穫7日前まで	3 L/m ²	5回以内	
ふき (ふきのとう)	5.0% SL	30分間種茎浸漬	800倍	植付時	—	1回	6回以内 (種茎浸漬は1回 以内、 灌注は5回以内)
		灌注	800倍	収穫30日前まで	3 L/m ²	5回以内	
たまねぎ	5.0% SL	散布	500倍	収穫3日前まで	100~300 L/10 a	5回以内	5回以内
	4.0% SL 配合剤8	散布	500倍	収穫7日前まで	100~300 L/10 a	5回以内	
ねぎ	5.0% SL	株元散布	500倍	収穫前日まで	100~300 L/10 a	2回以内	3回以内 (は種時の灌注は 1回以内、 散布及び株元散 布は合計2回以 内)
		散布	500倍	収穫前日まで	100~300 L/10 a	2回以内	
		灌注	400倍	は種時	6 L/m ²	1回	
にんにく	5.0% SL	散布	800倍	収穫3日前まで	100~300 L/10 a	5回以内	5回以内
にら	5.0% SL	散布	800倍	刈揃え前まで	100~300 L/10 a	3回以内	3回以内
セルリー	5.0% SL	散布	800倍	収穫前日まで	100~300 L/10 a	3回以内	3回以内
みつば	5.0% SL	散布	800倍	移植後 ただし 収穫7日前ま で、伏せ込み栽 培は伏せ込み前 まで	100~300 L/10 a	3回以内	4回以内 (育苗期は1回以 内、 移植後は3回以 内)
				育苗期		1回	
トマト	3.0% SL	灌注	500倍	は種直後	3 L/m ²	1回	1回
なす	5.0% SL	散布	500倍	収穫前日まで	100~300 L/10 a	10回以内	10回以内
きゅうり	5.0% SL	灌注	800倍	は種直後	3 L/m ²	1回	1回
	3.0% SL	灌注	500倍	は種直後	3 L/m ²	1回	

バリダマイシンの適用の範囲及び使用方法 (国内)

2025年4月23日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量 (目安)	使用回数	バリダマイシン を含む農薬の 総使用回数
ほうれんそう	5.0% SL	散布	500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内
しょうが	5.0% SL	散布	800倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内
	3.0% SL	散布	500倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	4回以内	
えだまめ	5.0% SL	散布	500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
かんきつ	5.0% SL	散布	500倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	4回以内	4回以内
もも	5.0% SL	散布	500倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	4回以内	4回以内
すもも	5.0% SL	散布	500倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	4回以内	4回以内
うめ	5.0% SL	散布	500倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	4回以内	4回以内
いちご	5.0% SL	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
茶	5.0% SL	散布	500倍	摘採7日前まで	200～400 L/10 a	2回以内	2回以内

SL：液剤

DP：粉剤

SC：フロアブル

WP：水和剤

配合剤1：8.0%トリシクラゾール・15.0%フェリムゾン

配合剤2：6.6%クロチアニジン・8.0%トリシクラゾール・15.0%フェリムゾン

配合剤3：20.0%フサライド

配合剤4：20.0%フェリムゾン・15.0%フサライド

配合剤5：20.0%トリシクラゾール

配合剤6：15.0%フェリムゾン・15.0%フサライド

配合剤7：1.37%カスガマイシン・8.0%トリシクラゾール

配合剤8：2.3%カスガマイシン

配合剤9：5.0%エトフェンプロックス・15.0%フェリムゾン・10.0%フサライド

配合剤10：2.0%フェリムゾン・1.5%フサライド

配合剤11：2.0%カルタップ・0.15%クロチアニジン・2.0%フェリムゾン・1.5%フサライド

配合剤12：0.50%トリシクラゾール・2.0%フェリムゾン

配合剤13：0.50%クロチアニジン・2.5%フサライド

配合剤14：0.50%クロチアニジン・0.50%メトキシフェノジド・2.0%フェリムゾン・1.5%フサライド

配合剤15：0.50%エトフェンプロックス・2.5%フサライド

配合剤16：0.50%エトフェンプロックス・2.0%フェリムゾン・1.5%フサライド

配合剤17：0.50%エトフェンプロックス・1.0%トリシクラゾール

配合剤18：0.50%エトフェンプロックス・0.50%トリシクラゾール・2.0%フェリムゾン

配合剤19：0.50%エトフェンプロックス・0.34%カスガマイシン・0.50%トリシクラゾール

配合剤20：0.50%エトフェンプロックス・0.11%カスガマイシン・0.50%トリシクラゾール

配合剤21：0.35%ジノテフラン・0.75%テブフェノジド・0.34%カスガマイシン・0.50%トリシクラゾール

配合剤22：0.35%ジノテフラン・0.34%カスガマイシン・0.50%トリシクラゾール

今回基準値設定依頼のあった適用の範囲及び使用方法を網掛けで示した。

ー：規定されていない項目

バリダマイシンの作物残留試験成績一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)		各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注2) 【バリダマイシンA/代謝物A】		設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数					
水稲 (玄米)	2	5.0% SL	原液散布 150 mL/10 a + 原液空中散布 150 mL/10 a	2	32	圃場A: - ^{#0}	圃場A: <0.055/- (\$)(#)			
			原液空中散布 150 mL/10 a	1	53	圃場B: - ^{#0}	圃場B: <0.055/- (\$)			
	原液無人ヘリ散布 150 mL/10 a		1	14	圃場A: 0.18 ^{#11}	圃場A: <0.05/-				
	6倍無人ヘリ散布 800 mL/10 a		3	16	14	圃場A: 0.18 ^{#11}	圃場A: <0.05/-			
						圃場B: 0.18 ^{#11}	圃場B: <0.05/-			
	4		300倍散布 25 L/10 a	3	14	圃場A: 0.18 ^{#11}	圃場A: <0.05/-			
						圃場B: 0.18 ^{#11}	圃場B: <0.05/-			
	4		300倍散布 25 L/10 a	1	14	圃場C: 0.18 ^{#11}	圃場C: <0.05/-			
						圃場D: 0.18 ^{#11}	圃場D: <0.05/-			
	2		5.0% SC	原液無人ヘリ散布 56~135, 147 mL/10 a	2	29	圃場A: - ^{#0}	圃場A: <0.05/- (#)		
		圃場B: - ^{#0}					圃場B: <0.05/- (#)			
	2	1000倍散布 100, 150 L/10 a	2, 3	52	35	圃場A: - ^{#0}	圃場A: <0.05/- (3回, 52日)			
						圃場B: - ^{#0}	圃場B: <0.05/- (3回, 35日)			
	2	8倍 800 mL/10 a +30倍 3 L/10 a 空中散布	4倍空中散布 800 mL/10 a	2	51	圃場A: - ^{#0}	圃場A: <0.04/- (\$)			
						圃場B: - ^{#0}	圃場B: <0.04/- (\$)			
	2	500倍散布 100, 150 L/10 a	3, 6	0	1	圃場A: - ^{#0}	圃場A: <0.008/- (\$)(#)			
						圃場B: - ^{#0}	圃場B: <0.008/- (\$)(#)			
	4	500倍散布 150 L/10 a	1	14	圃場A: 0.18 ^{#11}	圃場A: <0.05/-				
圃場B: 0.18 ^{#11}					圃場B: <0.05/-					
4	500倍散布 150 L/10 a	1	14	圃場C: 0.18 ^{#11}	圃場C: <0.05/-					
				圃場D: 0.18 ^{#11}	圃場D: <0.05/-					
2	1000倍散布 100, 120 L/10 a	2	41	57	圃場A: - ^{#0}	圃場A: <0.04/- (\$)				
					圃場B: - ^{#0}	圃場B: <0.04/- (\$)				
2	0.30% DP	散布 4 kg/10 a	1, 2, 3	48, 58, 68	圃場A: - ^{#0}	圃場A: <0.06/- (3回, 48日)				
					圃場B: - ^{#0}	圃場B: <0.06/- (3回, 48日)				
2	0.30% DP	散布 4 kg/10 a	6	14, 21	圃場A: 0.16 ^{#11} (#)	圃場A: <0.045/- (\$)(#)		◎		
					圃場B: 0.16 ^{#11} (#)	圃場B: <0.045/- (\$)(#)				
2	0.30% DP	散布 4.0, 4.5 kg/10 a	2, 3	7, 44	圃場A: - ^{#0}	圃場A: <0.055/- (2回, 44日) (\$)				
					圃場B: 0.19 ^{#11} (3回, 15日)	圃場B: <0.055/- (3回, 15日) (\$)				
2	0.30% GR	散布 4 kg/10 a	1, 2	1, 7, 20	圃場A: - ^{#0}	圃場A: <0.055/- (2回, 1日) (\$)(#)				
					圃場B: - ^{#0}	圃場B: <0.055/- (4回, 7日) (\$)(#)				
未成熟とうもろこし (種子)	2	5.0% SL	1000倍散布 200 L/10 a	3	7, 14	圃場A: 0.11 ^{#22}	圃場A: <0.05/-	◎		
だいず (乾燥子実)	2	5.0% SL	500倍散布 250 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A: 0.07 ^{#23}	圃場A: <0.05/-	◎		
						圃場B: 0.07 ^{#23}	圃場B: <0.05/-			
ばれいしょ (塊茎)	2	5.0% SL	10倍0.3%種いも散布 + 500倍散布 156~194, 190 L/10 a	1+6	7, 3, 7, 14	圃場A: <0.124	圃場A: <0.05/<0.074	◎		
						圃場B: <0.124	圃場B: <0.05/<0.074			
	2	5.0% SL + 0.30% DP	液剤200倍種いも浸漬 + 液剤200倍種いも散布 + 粉剤0.3%種いも粉衣 + 液剤250倍散布 150, 300 L/10 a	1+1+6	3, 7, 14	圃場A: <0.124 ^{#4} (#)	圃場A: <0.05/- (#)			
						圃場B: <0.124 ^{#4} (#)	圃場B: <0.05/- (#)			
	2	0.30% DP + 3.0% SL	1%種いも粉衣 + 500倍灌注 3 L/m ²	1+5	7	圃場A: <0.109 ^{#4} (#)	圃場A: <0.035/- (\$)(#)			
圃場B: <0.114 ^{#4} (#)						圃場B: <0.04/- (\$)(#)				
2	0.30% DP	0.3%種いも粉衣	1	120	圃場A: - ^{#0}	圃場A: <0.05/-				
				148	圃場B: - ^{#0}	圃場B: <0.05/-				
さといも (塊茎)	3	5.0% SL	500倍散布 181~198 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21, 28, 35	圃場A: <0.124	圃場A: <0.05/<0.074	◎		
こんにゃく (球茎)	3	5.0% SL	500倍散布 3000 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場B: <0.124	圃場B: <0.05/<0.074	◎		
						圃場A: <0.124	圃場A: <0.05/<0.074			
						圃場C: <0.124	圃場C: <0.05/<0.074			
てんさい (根節)	2	3.0% SL	250倍灌注 6 L/m ² , 1 L/冊 + 500倍散布 100 L/10 a	2+3	30	圃場A: <0.112 ^{#5} (#)	圃場A: <0.045/- (\$)(#)	◎		
						圃場B: <0.112 ^{#5} (#)	圃場B: <0.045/- (\$)(#)			

バリダマイシンの作物残留試験成績一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)	各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注2) 【バリダマイシンA/代謝物A】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
だいこん (根部)	2	5.0% SL	500倍散布 58~330, 150 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A:<0.124 ²⁵⁾	圃場A:<0.05/-	
					7, 14, 20	圃場B:<0.124 ²⁵⁾	圃場B:<0.05/-	
	2	3.0% SL	500倍土壌灌注200 mL/株 500倍土壌灌注3000 L/10 a	4	14, 21, 28	圃場A:- ²⁰⁾	圃場A:<0.05/- (4回, 14日) (#)	
だいこん (葉部)	2	5.0% SL	500倍散布 58~330, 150 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A:0.45 ²⁶⁾	圃場A:0.05/-	
					7, 14, 20	圃場B:0.45 ²⁶⁾	圃場B:<0.05/-	
	2	3.0% SL	500倍土壌灌注200 mL/株 500倍土壌灌注3000 L/10 a	4	14, 21, 28	圃場A:- ²⁰⁾	圃場A:<0.05/- (4回, 14日) (#)	
はくさい (茎葉)	2	5.0% SL	500倍散布 200, 300 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A:0.57 ²⁷⁾	圃場A:<0.05/-	
					3, 7, 14	圃場B:0.57 ²⁷⁾	圃場B:<0.05/-	
	2	0.30% DP	株元散布 20 kg/10 a	4	7, 14	圃場A:<0.124 ²⁵⁾	圃場A:<0.05/-	◎
キャベツ (茎葉)	2	5.0% SL	800倍散布 40~200 L/10 a	5	7, 14	圃場A:0.45 ²⁶⁾ (5回, 7日) (#)	圃場A:<0.05/- (5回, 7日) (#)	
					7, 14	圃場B:0.45 ²⁶⁾	圃場B:<0.05/-	
	2	0.30% DP	株元散布 20 kg/10 a	4	7, 14	圃場A:1.23 ²⁶⁾	圃場A:0.135/-	◎
チンゲンサイ (茎葉)	3	5.0% SL	500倍散布 153~194 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:1.83	圃場A:1.12/0.71	
					1, 3, 7, 14	圃場B:7.27	圃場B:4.41/2.86	
	2	0.30% DP	株元散布 20 kg/10 a	4	7, 14	圃場B:0.45 ²⁶⁾	圃場B:<0.05/-	◎
ブロッコリー (花蕾)	2	5.0% SL	800倍散布 197, 281~282 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:6.89 ²⁸⁾ (3回, 1日)	圃場A:0.725/-	
					1, 3, 7, 14, 21	圃場B:0.86 ²⁸⁾ (3回, 1日)	圃場B:0.09/-	
	3	5.0% SL	500倍散布 163~300 L/10 a	4	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:1.18 (4回, 3日)	圃場A:*0.10/*1.08 (*4回, 3日)	◎
レタス (茎葉)	2	3.0% SL	500倍散布 200 L/10 a	2, 3	1, 7	圃場A:0.52 ²⁸⁾ (2回, 1日)	圃場A:*0.055/- (*2回, 1日)	
					1, 7	圃場B:0.52 ²⁸⁾ (2回, 1日)	圃場B:*0.055/- (*2回, 1日)	
	2	0.30% DP	株元散布 20 kg/10 a	4	7, 14	圃場A:1.02 ²⁷⁾	圃場A:0.09/-	◎
リーフレタス (茎葉)	2	5.0% SL	800倍散布 200 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場B:0.68 ²⁷⁾	圃場B:0.06/-	
					3, 7, 14	圃場A:0.57 ²⁷⁾	圃場A:<0.05/-	
	2	0.30% DP	株元散布 20 kg/10 a	4	7, 14	圃場A:0.57 ²⁷⁾	圃場A:<0.05/-	◎
ふき (茎葉)	2	3.0% SL	500倍 30分間種茎浸漬 + 灌注 3 L/m ²	1+6	8	圃場A:1.14 ²⁶⁾ (#)	圃場A:<0.125/- (\$) (#)	
				1+5	7	圃場B:1.14 ²⁶⁾ (#)	圃場B:<0.125/- (\$) (#)	
	2	5.0% SL	800倍 30分間種茎浸漬 + 灌注 3 L/m ²	1+5	29, 44, 60, 75	圃場A:<0.124	圃場A:<0.05/<0.074	
2	5.0% SL	500倍散布 150 L/10 a	5	28, 43, 60, 75	圃場B:<0.124 ²⁹⁾	圃場B:<0.05/-		
たまねぎ (鱗茎)	2	5.0% SL	400倍灌注 6 L/m ² + 600倍散布200 L/10 a	1+4	7, 14, 21	圃場A:0.45 ²⁶⁾ (5回, 7日) (#)	圃場A:<0.05/- (5回, 7日) (#)	
					7, 14, 21	圃場B:0.82 ²⁶⁾ (5回, 7日) (#)	圃場B:0.09/- (5回, 7日) (#)	
	2	5.0% SL	400倍灌注6 L/m ² + 500倍散布200 L/10 a	1	100	圃場A:<0.124 ²¹¹⁾	圃場A:<0.05/-	
2	5.0% SL	400倍灌注6 L/m ² + 500倍散布 200 L/10 a	1+1	56	圃場B:<0.124 ²¹¹⁾	圃場B:<0.05/-		
にんにく (鱗茎)	2	5.0% SL	800倍散布 200 L/10 a	5	3, 7, 14	圃場A:<0.124 ²⁵⁾	圃場A:<0.05/-	
					3, 7, 14	圃場B:<0.124 ²⁵⁾	圃場B:<0.05/-	
	2	0.30% DP	株元散布 20 kg/10 a	4	7, 14	圃場A:0.48 ²⁸⁾	圃場A:<0.05/-	◎
にら (茎葉)	2	5.0% SL	800倍散布 222, 300 L/10 a	3	19	圃場A:<0.124 ²¹⁰⁾	圃場A:<0.05/-	
					42	圃場B:<0.124 ²¹⁰⁾	圃場B:<0.05/-	
	2	0.30% DP	株元散布 20 kg/10 a	4	7, 14	圃場A:2.67	圃場A:0.75/1.92	◎
セルリー (茎葉)	3	5.0% SL	800倍散布 222~278 L/10 a	3	1, 3, 7, 14, 21	圃場B:1.92	圃場B:0.68/1.24	
					1, 3, 7, 14, 21	圃場C:1.09	圃場C:0.44/0.65	
	2	5.0% SL	800倍散布 (育苗期)360, 419 L/10 a +(定植後)200 L/10 a	1+3	7, 14, 21	圃場A:1.82 ²⁶⁾	圃場A:0.20/-	◎
みつば (茎葉)	2	5.0% SL	500倍灌注 6 L/m ²	3	80	圃場A:<0.112 ²¹¹⁾ (#)	圃場A:<0.045/- (\$) (#)	
					103	圃場B:<0.112 ²¹¹⁾ (#)	圃場B:<0.045/- (\$) (#)	
	2	3.0% SL	500倍散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:0.64 ²⁶⁾	圃場A:0.07/-	◎

バリダイシンの作物残留試験成績一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)		各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注2) 【バリダイシンA/代謝物A】		設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数					
なす (果実)	2	5.0% SL	500倍散布 200,250 L/10 a	8	1, 3, 7	圃場A:0.72 ^{#12)}	圃場A:<0.05/-			◎
						圃場B:0.72 ^{#12)}	圃場B:<0.05/-			
	6		500倍散布 109~282 L/10 a	10	1, 3, 7, 14	圃場A:1.20	圃場A:0.22/*0.99 (*10回, 7日)			
						圃場A:0.86	圃場B:*0.08/0.80 (*10回, 3日)			
						圃場B:1.62	圃場C:0.20/1.42			
						圃場D:0.60	圃場D:<0.05/0.55			
圃場E:1.14	圃場E:0.18/0.96									
圃場F:0.59 (10回, 3日)	圃場F:0.16/*0.52 (*10回, 3日)									
なす (小なす)	1	5.0% SL	500倍散布 188~203 L/10 a	10	1, 3, 7, 14	圃場A:0.72 ^{#12)}	圃場A:<0.05/-			◎
きゅうり (果実)	2	3.0% SL	500倍灌注 6 L/m ²	3	43	圃場A:<0.112 ^{#11)} (#)	圃場A:<0.045/- (\$) (#)			◎
					44	圃場B:<0.112 ^{#11)} (#)	圃場B:<0.045/- (\$) (#)			
ほうれんそう (莖葉)	6	5.0% SL	500倍散布 192~213 L/10 a	4	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:9.90	圃場A:2.16/7.74			◎
						圃場B:20.7 (4回, 3日)	圃場B:5.74/*15.4 (*4回, 3日)			
						圃場C:17.7	圃場C:8.38/9.35			
						圃場D:18.3	圃場D:11.6/*7.13 (*4回, 3日)			
						圃場E:12.0 (4回, 3日)	圃場E:4.32/*7.76 (*4回, 3日)			
						圃場F:12.0	圃場F:4.86/*7.67 (*4回, 3日)			
しょうが (根茎)	2	3.0% SL	300倍散布 90,150 L/10 a	2, 4, 6	1, 5, 10	圃場A:<0.124 ^{#5)} (4回, 10日) (#)	圃場A:<0.05/- (4回, 10日) (#)			◎
					1, 6, 11	圃場B:<0.124 ^{#5)} (4回, 11日) (#)	圃場B:<0.05/- (4回, 11日) (#)			
えだまめ (さや)	2	5.0% SL	500倍散布 200,300 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:0.07 ^{#3)}	圃場A:<0.05/-			◎
みかん (果肉)	2	5.0% SL	500倍散布 500 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A:1.23 ^{#13)}	圃場A:<0.05/-			◎
みかん (果皮)	2	5.0% SL	500倍散布 500 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場B:1.23 ^{#13)}	圃場B:<0.05/-			
みかん (果実)	2	5.0% SL	500倍散布 500 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A:23.4 ^{#13)}	圃場A:0.95/-			◎
みかん (果皮)	2	5.0% SL	500倍散布 500 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場B:9.63 ^{#13)}	圃場B:0.39/-			◎
みかん (果実)	2	5.0% SL	500倍散布 500 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A:5.43 ^{#13)}	圃場A:0.22/-注3)			◎
みかん (果皮)	2	5.0% SL	500倍散布 500 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場B:2.47 ^{#13)}	圃場B:0.10/-注3)			◎
なつみかん (果肉)	1	5.0% SL	500倍散布 500 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A:1.23 ^{#13)}	圃場A:<0.05/-			
なつみかん (果皮)	1	5.0% SL	500倍散布 500 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A:13.5 ^{#13)}	圃場A:0.545/-			
なつみかん (果実)	2	5.0% SL	500倍散布 500 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A:4.94 ^{#13)}	圃場A:0.20/-注3)			◎
なつみかん (果皮)	2	5.0% SL	500倍散布 500 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場B:1.23 ^{#13)}	圃場B:<0.05/-			◎
かぼす (果実)	1	5.0% SL	500倍散布 500 L/10 a	4	6, 14, 21	圃場A:1.23 ^{#13)} (4回, 6日)	圃場A:<0.05/- (4回, 6日)			◎
すだち (果実)	1	5.0% SL	500倍散布 500 L/10 a	5	7, 14, 20	圃場A:1.23 ^{#13)} (5回, 7日) (#)	圃場A:<0.05/- (5回, 7日) (#)			◎
もも (果肉)	2	5.0% SL	500倍散布 400 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A:1.23 ^{#13)}	圃場A:<0.05/-			
						圃場B:1.23 ^{#13)}	圃場B:<0.05/-			
もも (果皮)	2	5.0% SL	500倍散布 400 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A:22.7 ^{#13)} (4回, 14日)	圃場A:0.92/- (4回, 14日)			
もも (果実)	2	5.0% SL	500倍散布 400 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場B:9.63 ^{#13)}	圃場B:0.39/-			
もも (果実)	2	5.0% SL	500倍散布 400 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A:4.20 ^{#13)}	圃場A:0.17/-注3)			◎
もも (果皮)	2	5.0% SL	500倍散布 400 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場B:2.22 ^{#13)}	圃場B:0.09/-注3)			◎
すもも (果実)	2	5.0% SL	500倍散布 300~400 L/10 a	4	3, 7, 14, 21	圃場A:0.53 ^{#14)}	圃場A:0.05/-			◎
						圃場B:0.85 ^{#14)}	圃場B:0.08/-			
うめ (果実)	2	5.0% SL	500倍散布 300~400 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A:7.65 ^{#13)} (4回, 14日)	圃場A:0.31/- (4回, 14日)			◎
						圃場B:1.85 ^{#13)}	圃場B:0.075/-			
	4		500倍散布 300~430 L/10 a	1, 2	7, 14, 21, 30, 60 (21及び30日は2回、他は1回)	圃場A:4.94 ^{#13)} (1回, 7日)	圃場A:0.20/- (1回, 7日)			
						圃場B:9.75 ^{#13)} (2回, 21日)	圃場B:0.395/- (2回, 21日)			
圃場C:1.73 ^{#13)} (2回, 30日)	圃場C:0.07/- (2回, 30日)									
圃場D:3.08 ^{#13)} (1回, 7日)	圃場D:0.125/- (1回, 7日)									
いちご (果実)	2	3.0% SL	500倍散布 150 L/10 a	2, 4	10, 19	圃場A:- ^{#0)}	圃場A:<0.05/- (4回, 10日) (#)			◎
					10, 20	圃場B:- ^{#0)}	圃場B:<0.05/- (4回, 10日) (#)			
	3	5.0% SL	1000倍散布 178~185 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.85	圃場A:0.60/0.25			
						圃場B:0.68	圃場B:0.41/0.27			
						圃場C:0.34	圃場C:0.22/0.12			

バリダマイシンの作物残留試験成績一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)	各化合物の残留濃度 (mg/kg) 注2) 【バリダマイシンA/代謝物A】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
茶 (荒茶)	8	5.0% SL	500倍散布 300~387 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A:9.35	圃場A:3.00/6.35	◎
						圃場B:3.29	圃場B:0.09/3.20	
						圃場C:0.61 (2回, 14日)	圃場C:<0.05/*0.56 (*2回, 14日)	
						圃場D:2.97	圃場D:0.07/2.90	
						圃場E:1.97	圃場E:0.08/1.89	
						圃場F:3.17	圃場F:0.09/3.08	
						圃場G:3.93 (2回, 21日)	圃場G:0.52/*3.88 (*2回, 21日)	
						圃場H:3.84	圃場H:0.33/3.51	

SL:液剤

SC:フロアブル

DP:粉剤

GR:微粒剤

(※)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

(※)同一圃場から採取された1つのサンプルを2つの分析機関に分けて測定されており、結果を平均値として示したため、実際の定量限界とは異なる。

注1) バリダマイシンA及び代謝物Aの合計濃度(バリダマイシンAに換算した値)を示した。代謝物の測定値がない農作物は以下の方法で総残留濃度を算出した。

#0) 参照可能な補正係数が得られなかったため、総残留濃度を算出できなかった。

#1) 水稲(玄米)の植物代謝試験(収穫前期間:14日)より算出した補正係数3.53をバリダマイシンの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。

#2) 水稲(玄米)の植物代謝試験(収穫前期間:7日)より算出した補正係数2.15をバリダマイシンの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。

#3) だいの植物代謝試験(収穫前期間:7日)より算出した補正係数1.39をバリダマイシンの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。

#4) ばれいしよの作物残留試験成績(収穫前期間:3日)より、バリダマイシンが定量限界未満の場合は代謝物Aも定量限界未満(<0.074)として総残留濃度を算出した。

#5) さといもの作物残留試験成績(収穫前期間:1~35日)より、バリダマイシンが定量限界未満の場合は代謝物Aも定量限界未満(<0.074)として総残留濃度を算出した。

#6) ほうれんそうの作物残留試験成績(収穫前期間:7日)より算出した補正係数9.08をバリダマイシンの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。

なお、株元散布に対応する代謝物Aのデータはないため、暫定的に散布と同様の補正係数を用いた。

#7) ほうれんそうの作物残留試験成績(収穫前期間:3日)より算出した補正係数11.38をバリダマイシンの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。

#8) ブロコリーの作物残留試験成績(収穫前期間:1日)より算出した補正係数9.51をバリダマイシンの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。

#9) ふき(ふきのとう)の作物残留試験成績(収穫前期間:28日)より、バリダマイシンが定量限界未満の場合は代謝物Aも定量限界未満(<0.074)として総残留濃度を算出した。

#10) 該当する代謝物Aのデータはないが、これらの適用が刈揃え前までとされており、これらの株養成期にのみ使用するもので、収穫を前提とした生育期には使用できないとされている。これらを考慮し、暫定的に代謝物Aも定量限界未満(<0.074)として総残留濃度を算出した。

#11) 灌漑適用に対する代謝物Aのデータはないが、実際の適用が、は種直後の1回適用であることを考慮し暫定的に代謝物Aも定量限界未満(<0.074)として総残留濃度を算出した。

#12) なすの作物残留試験成績(収穫前期間:1日)より算出した補正係数14.32をバリダマイシンの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。

#13) なすの作物残留試験成績(収穫前期間:7日)より算出した補正係数24.68をバリダマイシンの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。

なお、収穫前日数が7日以降の場合、換算係数が算出できないため、7日の換算係数で代用した。

#14) なすの作物残留試験成績(収穫前期間:3日)より算出した補正係数10.62をバリダマイシンの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。

注2) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験(いわゆる最大使用条件下の作物残留試験)を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

代謝物Aの残留濃度は、バリダマイシンAに換算した値で示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について()内に記載した。

注3) 果肉及び果皮の重量比から果実全体の残留濃度を算出した。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
米(玄米をいう。)	0.2	0.2	○			<0.045,<0.045(＃)(¥)
とうもろこし	0.2	0.2	○			<0.05,<0.05(¥)(未成熟とうもろこし)
大豆	0.2	0.2	○			<0.05,<0.05(¥)
ばれいしょ	0.2	0.2	○			<0.05,<0.05(¥)
さといも類(やつがしらを含む。)	0.05		申			<0.05,<0.05,<0.05
こんにゃくいも	0.05		申			<0.05,<0.05,<0.05
てんさい	0.2	0.2	○			<0.045,<0.045(＃)(¥)
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.2	0.2	○			<0.05,0.05(¥)
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	1	2	○			0.135,0.42(¥)
はくさい	0.2	0.2	○			<0.05,<0.05(¥)
キャベツ	0.2	0.2	○			<0.05(＃),<0.05(¥)
チンゲンサイ	15		申			1.12,4.41,4.54
ブロッコリー	4	2	○・申			<0.05,0.10,1.33
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	0.2	0.3	○			0.06,0.09(リーフレタス)、 <0.05(サラダ菜)
その他のきく科野菜	0.5	0.5	○			<0.125,<0.125(＃)(¥)(ふき)
たまねぎ	0.2	0.2	○			<0.05,<0.05(¥)
ねぎ(リーキを含む。)	2	2	○			<0.05,0.90(¥)
にんにく	0.2	0.2	○			<0.05,<0.05(¥)
にら	0.2	0.2	○			<0.05,<0.05(¥)
セロリ	2		申			0.44,0.68,0.75
みつば	0.5	0.5	○			0.07,0.20(¥)
トマト	0.2	0.2	○			<0.045,<0.045(＃)(¥)
なす	0.5		申			<0.05~0.22(n=6)(なす)、 <0.05(小なす)
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.2	0.2	○			<0.045,<0.045(＃)(¥)
ほうれんそう	20		申			2.16~11.6(n=6)
しょうが	0.2	0.2	○			<0.05,<0.05(＃)(¥)
えだまめ	0.2	0.2	○			<0.05,<0.05(¥)
みかん(外果皮を含む。)	0.7	0.7	○			0.10,0.22(¥)
なつみかんの果実全体	0.5	0.5	○			<0.05,0.20(¥)
レモン	0.2	0.7	○			<0.05(かぼす),<0.05(＃)(すだち)(¥)
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	0.7	0.7	○			(みかん(外果皮を含む。)参照)
グレープフルーツ	0.5	0.7	○			(なつみかんの果実全体参照)
ライム	0.2	0.7	○			(レモン参照)
その他のかんきつ類果実	0.7	0.7	○			(みかん(外果皮を含む。)参照)
もも(果皮及び種子を含む。)	0.5	0.5	○			0.09,0.17(¥)
すもも(プルーンを含む。)	0.3	0.3	○			0.05,0.08(¥)
うめ	1	1	○			0.08,0.31(¥)
いちご	1		申			0.22,0.41,0.60
茶	5		申			<0.05~3.00(n=8)(荒茶)
その他のスパイス	2	2	○			0.39,0.95(¥)(みかん果皮)

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	国/地域 基準値 ppm	
はちみつ	0.05					※

太枠:本基準(暫定基準以外の基準)を見直した基準値

○:既に、国内において登録等がされているもの

申:農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの

(#):適用の範囲内で試験が行われていない作物残留試験成績

(¥):基準値設定の根拠とした作物残留試験成績(最大値)

※)「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」(令和6年6月25日食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会)の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

バリダマイシンの推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{日}$)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1~6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
米 (玄米をいう。)	0.2	0.16	26.3	13.7	16.8	28.8
とうもろこし	0.2	0.11	0.5	0.6	0.7	0.5
大豆	0.2	0.07	2.7	1.4	2.2	3.2
ばれいしょ	0.2	0.124	4.8	4.2	5.2	4.4
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.05	0.124	0.6	0.2	0.2	0.9
こんにゃくいも	0.05	0.124	0.1	0.0	0.1	0.2
てんさい	0.2	0.112	3.6	3.1	4.6	3.7
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	0.2	0.124	4.1	1.4	2.6	5.7
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	1	2.52	4.3	1.5	7.8	7.1
はくさい	0.2	0.57	10.1	2.9	9.5	12.3
キャベツ	0.2	0.45	10.8	5.2	8.6	10.7
チンゲンサイ	15	7.27	13.1	5.1	13.1	13.8
ブロッコリー	4	1.18	6.1	3.9	6.5	6.7
レタス (サラダ菜及びびししゃを含む。)	0.2	0.68	6.5	3.0	7.8	6.3
その他のきく科野菜	0.5	1.135	1.7	0.1	0.7	3.0
たまねぎ	0.2	0.124	3.9	2.8	4.4	3.4
ねぎ (リーキを含む。)	2	4.52	42.5	16.7	30.7	48.4
にんにく	0.2	0.124	0.0	0.0	0.1	0.1
にら	0.2	0.124	0.2	0.1	0.2	0.3
セロリ	2	1.92	2.3	1.2	0.6	2.3
みつば	0.5	1.23	0.5	0.1	0.1	0.6
トマト	0.2	0.112	3.6	2.1	3.6	4.1
なす	0.5	0.86	10.3	1.8	8.6	14.7
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.2	0.112	2.3	1.1	1.6	2.9
ほうれんそう	20	14.85	190.1	87.6	210.9	258.4
しょうが	0.2	0.124	0.2	0.0	0.1	0.2
えだまめ	0.2	0.07	0.1	0.1	0.0	0.2
みかん (外果皮を含む。)	0.7	3.95	70.3	64.8	2.4	103.5
なつみかんの果実全体	0.5	3.085	4.0	2.2	14.8	6.5
レモン	0.2	1.23	0.6	0.1	0.2	0.7
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	0.7	3.95	27.7	57.7	49.4	16.6
グレープフルーツ	0.5	3.085	13.0	7.1	27.5	10.8
ライム	0.2	1.23	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のかんきつ類果実	0.7	3.95	23.3	10.7	9.9	37.5
もも (果皮及び種子を含む。)	0.5	3.21	10.9	11.9	17.0	14.1
すもも (ブルーンを含む。)	0.3	0.69	0.8	0.5	0.4	0.8
うめ	1	4.75	6.7	1.4	2.9	8.6
いちご	1	0.68	3.7	5.3	3.5	4.0
茶	5	3.23	21.3	3.2	12.0	30.4
その他のスパイス	2	16.515	1.7	1.7	1.7	3.3
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			535.5	326.7	488.9	679.6
ADI比 (%)			2.7	5.5	2.3	3.4

EDI: 推定一日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算: 作物残留試験成績の中央値 (STMR) 等 × 各食品の平均摂取量

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。
茶については、浸出液における作物残留試験結果がないため、荒茶の結果を用いてEDI試算をした。

バリダマイシンの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI (μ g/kg体重)	ESTI/ARFD (%)
米(玄米)	米	0.2	○ 0.16	1.0	0
とうもろこし	スイートコーン	0.2	0.5	5.6	0
大豆	大豆	0.2	○ 0.07	0.1	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.2	0.5	4.7	0
さといも類(やつがしらを含む。)	さといも	0.05	0.1	0.5	0
だいこん類(ラディッシュを含む。)	だいこんの根	0.2	0.5	5.8	0
だいこん類(ラディッシュを含む。)	だいこんの葉	1	10	82.6	3
はくさい	はくさい	0.2	2	25.9	1
キャベツ	キャベツ	0.2	1	9.5	0
チンゲンサイ	チンゲンサイ	15	30	222.7	7
ブロッコリー	ブロッコリー	4	4	24.0	1
レタス(サラダ菜及びちしやを含む。)	レタス類	0.2	3	16.9	1
たまねぎ	たまねぎ	0.2	0.5	4.1	0
ねぎ(リーキを含む。)	ねぎ	2	15	57.3	2
にんにく	にんにく	0.2	0.5	0.3	0
にら	にら	0.2	0.5	0.7	0
セロリ	セロリ	2	6	33.1	1
みつば	みつば	0.5	5	4.0	0
トマト	トマト	0.2	0.5	5.5	0
なす	なす	0.5	○ 1.62	10.5	0
きゅうり(ガーキンを含む。)	きゅうり	0.2	0.5	3.2	0
ほうれんそう	ほうれんそう	20	○ 20.7	100.3	3
しょうが	しょうが	0.2	0.5	0.5	0
えだまめ	えだまめ	0.2	0.3	0.8	0
みかん(外果皮を含む。)	みかん	0.7	10	93.4	3
なつみかんの果実全体	なつみかん	0.5	10	124.3	4
レモン	レモン	0.2	3	6.3	0
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	オレンジ	0.7	10	94.0	3
	オレンジ果汁	0.7	○ 3.95	39.3	1
グレープフルーツ	グレープフルーツ	0.5	10	172.1	5
その他のかんきつ類果実	きんかん	0.7	10	23.9	1
	ぼんかん	0.7	10	105.2	3
	ゆず	0.7	10	15.8	0
	すだち	0.7	10	15.7	0
もも(果皮及び種子を含む。)	もも	0.5	10	135.6	4
すもも(ブルーンを含む。)	ブルーン	0.3	2	11.7	0
うめ	うめ	1	15	20.6	1
いちご	いちご	1	2	7.6	0
茶	緑茶類	5	○ 3.23	2.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁(値が100を超える場合は有効数字2桁)とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度(HR)又は中央値(STMR)を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

茶については、浸出液における作物残留試験結果がないため、荒茶の結果を用いて試算をした。

バリダマイシンの推定摂取量（短期）：幼児（1～6歳）

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重)	ESTI/ARFD (%)
米（玄米）	米	0.2	○ 0.16	1.7	0
とうもろこし	スイートコーン	0.2	0.5	12.0	0
大豆	大豆	0.2	○ 0.07	0.1	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.2	0.5	11.3	0
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.05	0.1	1.3	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.2	0.5	10.9	0
はくさい	はくさい	0.2	2	31.4	1
キャベツ	キャベツ	0.2	1	15.6	0
ブロッコリー	ブロッコリー	4	4	57.6	2
レタス（サラダ菜及びびちしゃを含む。）	レタス類	0.2	3	29.5	1
たまねぎ	たまねぎ	0.2	0.5	8.8	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	2	15	97.3	3
にんにく	にんにく	0.2	0.5	0.4	0
にら	にら	0.2	0.5	1.1	0
トマト	トマト	0.2	0.5	13.6	0
なす	なす	0.5	○ 1.62	25.3	1
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.2	0.5	7.3	0
ほうれんそう	ほうれんそう	20	○ 20.7	232.4	7
しょうが	しょうが	0.2	0.5	0.7	0
えだまめ	えだまめ	0.2	0.3	0.8	0
みかん（外果皮を含む。）	みかん	0.7	10	273.8	9
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	0.7	10	269.5	8
	オレンジ果汁	0.7	○ 3.95	70.4	2
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	0.5	10	424.2	10
うめ	うめ	1	15	51.2	2
いちご	いちご	1	2	21.6	1
茶	緑茶類	5	○ 3.23	3.1	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

茶については、浸出液における作物残留試験結果がないため、荒茶の結果を用いて試算をした。

(参考)

これまでの経緯

昭和47年	5月	2日	初回農薬登録
平成17年	11月	29日	残留基準告示
平成27年	12月	16日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：ブロッコリー、うめ等）
平成28年	3月	22日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和2年	9月	29日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和3年	1月	27日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
令和3年	1月	22日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和3年	8月	31日	残留基準告示
令和3年	9月	15日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：こんにゃく、チンゲンサイ等）
令和4年	7月	13日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和4年	8月	31日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和4年	11月	7日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
令和5年	7月	24日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：セルリー、なす等）
令和6年	2月	27日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：さといも）
令和7年	7月	8日	食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

- | | | |
|-----|-----|---------------------------|
| 大山 | 和俊 | 一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長 |
| ○折戸 | 謙介 | 学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授 |
| 加藤 | くみ子 | 北里大学薬学部教授 |
| 近藤 | 麻子 | 日本生活協同組合連合会組織推進本部本部長 |
| 須恵 | 雅之 | 東京農業大学応用生物科学部教授 |
| 瀧本 | 秀美 | 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事 |
| 田口 | 貴章 | 国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長 |
| ◎堤 | 智昭 | 国立医薬品食品衛生研究所食品部長 |
| 中島 | 美紀 | 金沢大学ナノ生命科学研究所（薬学系兼任）教授 |
| 野田 | 隆志 | 一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問 |

(◎：部会長、○：部会長代理)

答申（案）

バリダマイシンについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適当である。

バリダマイシン

今回残留基準を設定する「バリダマイシン」の規制対象は、バリダマイシンAとする。

食品名	残留基準値 ppm
米（玄米をいう。）	0.2
とうもろこし	0.2
大豆	0.2
ばれいしょ	0.2
さといも類（やつがしらを含む。）	0.05
こんにゃくいも	0.05
てんさい	0.2
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.2
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	1
はくさい	0.2
キャベツ	0.2
チンゲンサイ	15
ブロッコリー	4
レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）	0.2
その他のきく科野菜 ^{注1)}	0.5
たまねぎ	0.2
ねぎ（リーキを含む。）	2
にんにく	0.2
にら	0.2
セロリ	2
みつば	0.5
トマト	0.2
なす	0.5
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.2
ほうれんそう	20
しょうが	0.2
えだまめ	0.2

食品名	残留基準値
	ppm
みかん（外果皮を含む。）	0.7
なつみかんの果実全体	0.5
レモン	0.2
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	0.7
グレープフルーツ	0.5
ライム	0.2
その他のかんきつ類果実 ^{注2)}	0.7
もも（果皮及び種子を含む。）	0.5
すもも（プルーンを含む。）	0.3
うめ	1
いちご	1
茶	5
その他のスパイス ^{注3)}	2
はちみつ	0.05

注1) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注2) 「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注3) 「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。